

令和6年度 国語科評価規準（第1学年）

単元名	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
はるが きた	◎互いの話に関心をもつことができる。(思○判○表 A(1)オ) ○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知○技(1)ア) ■絵を見て話したり応答したりする。 ☆学校生活(生活科)	○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。	○「話すこと○聞くこと」において、互いの話に関心をもっている。	○すすんで友達の話に関心をもち、これまでの経験をいかして話したり応答したりしようとしている。
おはなし ききた いな	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知○技(3)エ) ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思○判○表 C(1)オ) ■読み聞かせを聞いて楽しむ。	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	○積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの経験をいかして読み聞かせを楽しもうとしている。
なんて いおうかな	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思○判○表 A(1)ア) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知○技(1)キ) ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思○判○表 A(1)ウ) ■場面に応じた言葉や動作を考えて、伝え合う。	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	○積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの経験をいかして読み聞かせを楽しもうとしている。
どうぞ よろしく	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思○判○表 A(1)ア) ○経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にすることができる。(思○判○表 B(1)ア) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知○技(1)キ) ■名前カードを使って友達と交流する。	○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。	○「話すこと○聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ○「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にしている。	○積極的に自分の名前を書いたり好きなものを考えたりし、これまでの経験をいかして友達と交流しようとしている。
こんなもの みつけ たよ	◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思○判○表 A(1)ア) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。(知○技(1)キ) ■見つけたものや思ったことを友達に紹介する。	○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。	○「話すこと○聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。	○紹介したい事柄を積極的に選び、学習課題に沿って見つけたものをより分かりやすく紹介しようとしている。
うたに あわせて あ いうえお	◎姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知○技(1)イ) ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知○技(3)イ)	○姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。		○すすんで姿勢や口形、発声や発音に注意し、学習課題に沿って音読しようとしている。

	<p>■音読する。 ■正しい筆順で文字を書く。</p>			
こえに だして よもう	<p>◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思○判○表 C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知○技(1)ク) ■詩を音読する。 ■想像を広げながら詩を読む。</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 ○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。</p>		<p>○すすんで詩に描かれた様子を想像し、これまでの学習をいかして音読しようとしている。</p>
よく きいて、はなそう	<p>◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思○判○表 A(1)エ) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知○技(1)ア) ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思○判○表 A(1)ウ) ■応答したり、感想を伝えたりする。</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 ○「話すこと○聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。</p>	<p>○興味をもってすすんで友達の話を聞き、より伝わる話し方を考えながら、みんなに知らせようとしている。</p>
ことばをさがそう	<p>◎音節と文字との関係に気づくことができる。(知○技(1)イ) ◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知○技(1)オ) ■言葉集めをする。</p>	<p>○音節と文字との関係に気づいている。 ○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。</p>		<p>○語句の音節と文字との関係を積極的に理解し、これまでの学習をいかして言葉を集めようとしている。</p>
はなの みち	<p>◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知○技(1)ク) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思○判○表 C(1)イ) ○敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知○技(1)キ) ■想像を広げながら物語を読む。 ■物語の音読をする。</p>	<p>○敬体で書かれた文章に慣れている。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。</p>	<p>○興味をもってすすんでお話の内容を捉え、学習課題に沿って友達と協力して音読しようとしている。</p>
としょかんへいこう	<p>◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知○技(3)エ) ■学校図書館で好きな本を選んで読書に親しむ。</p>	<p>○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。</p>		<p>○積極的に図書館について知ろうとし、学習課題に沿って読みたい本を見つけようとしている。</p>
かきと かぎ	<p>◎平仮名を読み、書くことができる。(知○技(1)ウ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思○判○表 B(1)ウ)</p>	<p>○平仮名を読み、書いている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>○すすんで濁音を含む言葉を見つけ、これまでの学習をいかして文字で表そうとしている。</p>
ぶんを つくろう	<p>◎平仮名を読み、書くことができる。(知○技(1)ウ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思○判○表 B(1)ウ)</p>	<p>○句点の打ち方を理解して文の中で使っている。○文の中における主語と述語との関係に気づいている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。</p>	<p>○語と語との続き方を丁寧に確かめながら、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>

ねこと ねっこ	<p>◎促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(知○技(1)ウ)</p> <p>○語と語との続き方に注意することができる。(思○判○表 B(1)ウ)</p> <p>■促音や濁音のある言葉を使って文を書く。</p>	<p>○促音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。</p>	<p>○すすんで促音や濁音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
わけを はなそう	<p>◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。(思○判○表 A(1)イ)</p> <p>○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知○技(1)ア)</p> <p>○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思○判○表 A(1)ア)</p> <p>■自分の考えとそのわけを話す。</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。</p> <p>○「話すこと○聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。</p>	<p>○話す事柄の順序をすすんで考えながら、これまでの学習や経験をいかして考えとわけを話そうとしている。</p>
おばさんと おばあさん	<p>◎長音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(知○技(1)ウ)</p> <p>○語と語との続き方に注意することができる。(思○判○表 B(1)ウ)</p> <p>■長音のある言葉を使って文を書く。</p>	<p>○長音の表記、助詞の「へ」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。</p>	<p>○すすんで長音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
あいうえおで あそぼう	<p>◎平仮名を読み、書くことができる。(知○技(1)ウ)</p> <p>◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知○技(3)イ)</p> <p>○姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知○技(1)イ)</p> <p>■言葉遊び歌を楽しむ。</p>	<p>○姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。</p> <p>○平仮名を読み、書いている。○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。</p>		<p>○すすんで平仮名の五十音を確かめ、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。</p>
つぼみ	<p>◎事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思○判○表 C(1)ア)</p> <p>○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知○技(1)カ)</p> <p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知○技(1)ク)</p> <p>○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思○判○表 C(1)ウ)</p> <p>■文章を読んで分かったことや考えたことを伝え合う。</p>	<p>○文の中における主語と述語との関係に気づいている。</p> <p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。</p>	<p>○「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。</p> <p>○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。</p>	<p>○積極的に説明の順序を捉えながら文章を読み、学習課題に沿って分かったことや考えたことを伝えようとしている。</p>
おもちゃと おもちゃ	<p>◎拗音の表記、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。(知○技(1)ウ)</p> <p>○語と語との続き方に注意することができる。(思○判○表 B(1)ウ)</p> <p>■拗音のある言葉を使って文を書く。</p>	<p>○拗音の表記、句点の打ち方を理解して、文の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。</p>	<p>○すすんで拗音のある言葉を見つけようとし、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>

<p>おおきく なった</p>	<p>◎観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。(思○判○表 B(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。(知○技(1)オ) ■観察したことを記録する文を書く。</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、観察したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。</p>	<p>○植物をさまざまな観点から積極的に観察し、これまでの学習をいかして観察したことを記録しようとしている。</p>
<p>おおきな かぶ</p>	<p>◎語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知○技(1)ク) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思○判○表 C(1)イ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知○技(1)カ) ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思○判○表 C(1)エ) ■物語を楽しんで音読したり、劇遊びをしたりする。</p>	<p>○文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。 ○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。</p>	<p>○積極的に登場人物の行動を捉え、これまでの学習をいかして音読や劇遊びをしようとしている。</p>
<p>はをへを つかおう</p>	<p>◎助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知○技(1)ウ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思○判○表 B(1)ウ) ■助詞「は」「を」「へ」を使って文を書く。</p>	<p>○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方を理解して文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>○すすんで助詞の使い方を確かめながら、学習課題に沿って文を作ろうとしている。</p>
<p>すきな こと、なあに</p>	<p>◎身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思○判○表 A(1)ア) ◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思○判○表 B(1)ウ) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知○技(1)ア) ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知○技(1)キ) ○相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。(思○判○表 A(1)イ) ■「好きなこと」を紹介する。</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。 ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ○「話すこと○聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。 ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>○粘り強く伝えたいことや表し方を考え、これまでの学習をいかして自分が好きなものとその理由を紹介しようとしている。</p>
<p>おむすび ころりん</p>	<p>◎昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。(知○技(3)ア) ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思○判○表 C(1)イ)</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。 ○昔話の読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。</p>	<p>○すすんで昔話の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読しようとしている。</p>

	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知○技(1)ク)</p> <p>■昔話を音読したり演じたりする。</p>			
こんなことがあったよ	<p>◎経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思○判○表 B(1)ア)</p> <p>○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思○判○表 B(1)オ)</p> <p>○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知○技(1)ア)</p> <p>■出来事や経験を報告する文章を書く。</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>○「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。</p>	<p>○積極的に出来事や経験を思い出し、これまでの学習をいかして日記に書こうとしている。</p>
としょかんと なかよし	<p>◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知○技(3)エ)</p> <p>■図書館に行き、好きな本を選んで読書に親しむ。</p>	<p>○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。</p>		<p>○積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの学習をいかして本を選ぼうとしている。</p>
こえを あわせて よもう	<p>◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思○判○表 C(1)イ)</p> <p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知○技(1)ク)</p> <p>■詩を音読する。</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。</p> <p>「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。</p>		<p>○すすんで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。</p>
みんなに しらせよう	<p>◎伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。(思○判○表 A(1)ウ)</p> <p>○姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。(知○技(1)イ)</p> <p>○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思○判○表 A(1)エ)</p> <p>■知らせたい内容を聞き合う。</p>	<p>○姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。</p> <p>○「話すこと○聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。</p>	<p>○積極的に友達の話の聞き、これまでの学習をいかして質問や感想を述べようとしている。</p>
ことばを みつけよう	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知○技(1)オ)</p> <p>■みんなで言葉遊びをする。</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。</p>		<p>○積極的に言葉遊びに取り組み、これまでの学習をいかして自分でも言葉遊びを作成しようとしている。</p>
やくそく	<p>◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。(思○判○表 C(1)イ)</p> <p>○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知○技(1)カ)</p> <p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知○技(1)ク)</p> <p>○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思○判○表 C(1)エ)</p>	<p>○文の中における主語と述語との関係に気づいている。○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。</p> <p>○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。</p>	<p>○すすんで登場人物の行動を確かめ、学習の見直しをもって声に出してお話を楽しもうとしている。</p>

	<p>■お話を楽しんだり、想像を広げたりしながら読む。</p>			
かたかなを みつけよう	<p>◎片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使うことができる。(知○技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意しながら、文を書き表すことができる。(思○判○表 B(1)ウ) ■身の回りから片仮名で書く言葉を見つけて、読んだり書いたりする。</p>	<p>○片仮名を読み、書くとともに、片仮名の長音、拗音、促音、撥音などの表記を理解して文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。</p>	<p>○身の回りから片仮名で書く言葉をすすんで見つけ、これまでの学習をいかして簡単な文を書こうとしている。</p>
うみの かくれんぼ	<p>◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思○判○表 C(1)ウ) ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知○技(1)カ) ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知○技(2)ア) ○事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思○判○表 C(1)ア) ■説明する文章を読み、分かったことを伝える。</p>	<p>○文の中における主語と述語との関係に気づいている。 ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。</p>	<p>○粘り強く文章の中で大事な言葉を押さえながら読み、学習課題に沿って分かったことを伝えようとしている。</p>
かずと かんじ	<p>◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。(知○技(1)エ) ○語と語との続き方に注意しながら文を書き表すことができる。(思○判○表 B(1)ウ) ■数え歌を書く。</p>	<p>○第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書いている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら文を書き表している。</p>	<p>○積極的に数え方に興味をもち、これまでの学習や経験をいかして漢字を使って数え歌を書こうとしている。</p>
くじらぐも	<p>◎かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表 C(1)エ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク) ■読んで想像したことを伝え合う。</p>	<p>○かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。</p>	<p>○積極的に想像力を広げて物語を読み、これまでの学習をいかして想像したことを友達に伝えようとしている。</p>
まちがいを なおそう	<p>◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正すことができる。(思・判・表 B(1)エ) ○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。(知・技(1)ウ) ■正しい表記で文章を書く。</p>	<p>○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正している。</p>	<p>○すすんで文章を見直し、これまでの学習をいかして適切な表記に正そうとしている。</p>
しらせたいな、見せたいな	<p>◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりすることができる。(思・判・表 B(1)ア) ○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。 ○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりしている。 ○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表している。</p>	<p>○知らせたいものを丁寧に観察し、学習の見通しをもって見つけたことを文章にして伝えようとしている。</p>

	<p>○助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>○語と語や文と文との続き方に注意しながら書き表すことができる。(思・判・表 B(1)ウ)</p> <p>■見つけたことを記録して伝える。</p>			
かん字の はなし	<p>◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表 B(1)ウ)</p> <p>■漢字を使った短文を書く。</p>	○第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	○積極的に漢字の成り立ちに興味をもち、学習課題に沿って漢字を使った短い文を書こうとしている。
ことばを たのしもう	<p>◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ)</p> <p>○音節と文字との関係に気づくとともに、発声や発音に注意して話すことができる。(知・技(1)イ)</p> <p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク)</p> <p>■詩や早口言葉を楽しむ。</p>	<p>○音節と文字との関係に気づくとともに、発声や発音に注意して話している。</p> <p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。</p> <p>○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。</p>		○積極的に詩や早口言葉を楽しみ、これまでの学習や経験をいかして、発声や発音に気をつけながら声に出して読もうとしている。
じどう車くらべ	<p>◎事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表 C(1)ア)</p> <p>○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(思・判・表 C(1)ウ)</p> <p>■事物の仕組みを説明した文章を読み、分かったことをまとめる。</p>	○事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	○「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	○すすんで説明における順序を考えながら読み、自分が説明するときにかいたことを見つけようとしている。
じどう車ずかんをつくろう	<p>◎事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(思・判・表 B(1)イ)</p> <p>○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>■「じどう車しょうかいカード」を書く。 ☆自動車について書かれた図鑑等を選ぶ</p>	○事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	○「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	○分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、見通しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。
かたかなを かこう	<p>◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>○語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表 B(1)ウ)</p> <p>■片仮名で書く言葉を集め、短文を書く。</p>	○片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、書き表し方を工夫している	○片仮名の表記のしかたに気をつけながら、これまでの学習をいかして文の中で片仮名を使おうとしている。
どんな おはなしができるかな	<p>◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表 A(1)オ)</p> <p>◎文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。(思・判・表 B(1)オ)</p>	<p>○句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。</p> <p>○文の中における主語と述語との関係に気づいている。</p>	○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	○物語を完成させるという見通しをもち、進んで友達に質問し、お話を書こうとしている。

	<p>○句読点の打ち方、かぎ(「 」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ)</p> <p>○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表 A(1)エ)</p> <p>■友達と話したことを基にして物語を作る。</p>		<p>○「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。</p> <p>○「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。</p>	
たぬきの 糸車	<p>◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表 C(1)オ)</p> <p>○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。(知・技(1)カ)</p> <p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク)</p> <p>○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。(思・判・表 C(1)エ)</p> <p>■物語の好きなところを見つけて、そのわけを話し合う。</p>	<p>○文の中における主語と述語との関係に気づいている。</p> <p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。</p> <p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。</p>	<p>○場面の様子に進んで着目し、これまでの学習をいかして、好きなところとそのわけを考えようとしている。</p>
日づけと よう日	<p>◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)</p> <p>○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表 B(1)ウ)</p> <p>■唱え歌を作る。</p>	<p>○第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>○積極的に日付や曜日を表す漢字に関心をもち、これまでの学習をいかして自分でも唱え歌を作ろうとしている。</p>
てがみで しらせよう	<p>◎丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ)</p> <p>◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。(思・判・表 B(1)エ)</p> <p>○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表 B(1)ウ)</p> <p>■伝えたいことを手紙に書く。</p>	<p>○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。</p> <p>○「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。</p>	<p>○書いた文章を積極的に見直ししながら、これまでの学習をいかして、身近な人へ手紙を書こうとしている。</p>
本は ともだち	<p>◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ)</p> <p>○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表 B(1)ウ)</p> <p>○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表 C(1)カ)</p>	<p>○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>○積極的に世界の昔話を読み、これまでの学習をいかして感想をカードに書いて伝えようとしている。</p>

	<p>■昔話を読み、感想を伝え合う。</p>			
なりきって よもう	<p>◎場面の様子など、内容の大体を捉えることができる。(思・判・表 C(1)イ) ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。(知・技(1)ク)</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。</p>	<p>○「読むこと」において、場面の様子など、内容の大体を捉えている。</p>	<p>○すすんで詩の内容を捉え、これまでの学習をいかして音読を楽しもうとしている。</p>
くわしく きこう	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。(思・判・表 A(1) エ) ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表 A(1)ア) ■紹介を聞いて、質疑応答する。</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、話の中で使い、語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。</p>	<p>○積極的に友達の話を読み、学習の見通しをもって、質問や感想を述べようとしている。</p>
ことばで あそぼう	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ)</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。 ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。</p>		<p>○積極的に身近なことを表す語句を使った言葉遊びを楽しみ、これまでの学習をいかして語彙を豊かにしようとしている。</p>
どうぶつの 赤ちゃん	<p>◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表 C(1)オ) ◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表 C(1)カ) ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。(知・技(3)エ) ■書かれていることを比べて読む。</p>	<p>○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>○文章の内容を比べながら粘り強く読み、学習の見通しをもって、本から得たことを友達に知らせようとしている。</p>
ものの 名まえ	<p>◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づくことができる。(知・技(1)オ) ○互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表 A(1)オ) ■尋ねたり、応答したりする。</p>	<p>○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。 ○身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づいている。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。</p>	<p>○積極的に言葉の上位語と下位語に関心を持ち、学習の見通しをもって、言葉を集めて「おみせやさんごっこ」をしようとしている。</p>
わらしべちようじや	<p>◎片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表 B(1)ウ) ■片仮名の言葉を使って文を書く。</p>	<p>○片仮名を読み、書くとともに、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>○すすんで形の似ている字を探し、これまでの学習をいかして片仮名の言葉を使った文を書こうとしている。</p>
ことばあそびを つくろう	<p>◎身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ)</p>	<p>○身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>○身近なことを表す語句に積極的に関心を持ち、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しもうとしている。</p>

	<p>○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。(知・技(3)イ)</p> <p>○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。(思・判・表 B(1)ウ)</p> <p>■言葉遊びを作る。</p>	<p>○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。</p>		
これは、なんでしょう	<p>◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。(思・判・表 A(1)オ)</p> <p>○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表 A(1)ア)</p> <p>■二人で相談し、考えをまとめる。</p>	<p>○事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。</p>	<p>○粘り強く二人で話し合い、学習課題に沿って協力してクイズを作ろうとしている。</p>
よんで かんじた ことを はなそう	<p>◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。(思・判・表 C(1)カ)</p> <p>○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p> <p>○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。(思・判・表 C(1)オ)</p> <p>■読んで感じたことを伝え合う。</p>	<p>○事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。</p>	<p>○友達への考えや感想を積極的に知ろうとし、学習の見通しをもって、読んで感じたことを伝え合おうとしている。</p>
にている かん字	<p>◎第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>・語と語との続き方に注意しながら、文を書き表すことができる。(思・判・表 B(1)ウ)</p> <p>■似ている漢字を使って文を書く。</p>	<p>○第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、文を書き表している。</p>	<p>○すすんで漢字の形に注意し、これまでの学習をいかして楽しみながら文を書こうとしている。</p>
いい こと いっぱい、 一年生	<p>◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。(思・判・表 B(1)イ)</p> <p>○敬体で書かれた文章に慣れることができる。(知・技(1)キ)</p> <p>○経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表 B(1)ア)</p> <p>■経験したことを報告する文章を書く。</p>	<p>○敬体で書かれた文章に慣れている。</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。</p>	<p>○事柄の順序に沿って構成を粘り強く考えながら、これまでの学習や経験をいかして1年生の思い出を伝える文章を書こうとしている。</p>

令和6年度 国語科評価規準（第2学年）

単元名	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
すごろくトーク	◇いろいろな場面で、話す声の大きさを考えて、気をつけて話すことの大切さに気づく。 ☆学習用語: 声の大きさ／伝える／相手／声のものさし	○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している	○「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。	○すすんで伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫し、今までの学習を生かしてすごろくトークをしようとしている。
つづけて みよう ——日記	■毎日の生活を振り返り、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、日記を書く。	○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	○積極的に、経験したことや思ったことなどから書くことを見つけようとし、学習課題にそって、日記を書いて友達と読み合おうとしている。
ちいさい おおき い	□体を動かしたり、声の大きさを工夫しながら、楽しく読む。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	○すすんで言葉の響きなどに気をつけて、学習の見通しをもって音読しようとしている。
はるねこ	□場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、音読する。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。	○「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。	○すすんで場面や登場人物の様子を捉え、学習課題にそって音読を聞き合ったり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。
ひろい 公園	◇質問を落とさないように聞き、絵から答えを探す。	○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。	○すすんで話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、今までの学習を生かして、伝言クイズをしようとしている。
回文を たのし もう	△回文の意味を知り、楽しみながら回文を読む。	○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。		○すすんで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づこうとし、学習の見通しをもって回文を楽しみながら読んでいる。

画と 書きじゆん	△漢字の画と筆順について理解し、正しく	○第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。		○積極的に漢字の筆順を理解し、学習の見通しをもって、正しい筆順で漢字を書こうとしている。
一年生で 学んだ 漢字①	△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	○第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	○積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文を書こうとしている。
すみれと あり	□ありとの関わりに気をつけながら、すみれが仲間を増やす仕組みについて説明した文章を読む。	○文の中における主語と述語との関係に気付いている。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	○積極的に、発見したことをもとに簡単な構成を考え、学習課題にそって、「かんさつ発見カード」を書こうとしている。
かんさつ発見カード	■観察して同じところや違うところを見つけ、考えが明確になるように事柄の順序にそって簡単な構成を考え、「かんさつ発見カード」を書く。	○文の中における主語と述語との関係に気付いている。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	○積極的に、発見したことをもとに簡単な構成を考え、学習課題にそって、「かんさつ発見カード」を書こうとしている。
むかしの うたを 読もう	△平仮名四十七文字を全て使った歌や数字が歌詞に組み込まれた遊び歌があることを知り、音読する。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。		○すすんで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づこうとし、学習の見通しをもって音読しようとしている。
かたかなで 書く 言葉	△片仮名で書く言葉の種類を知り、正しく使い分ける。	○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。		○積極的に片仮名で書く語の種類を知ろうとし、今までの学習を生かして文を書こうとしている。

		○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。		
本で しらべよう	△図書館で本を探す方法を知り、本を探して読む。	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	○図書館で本を探す方法を知り、自分の目的の本を探す際に役立てようとしている。
「生きものクイズ」で しらせよう	■経験したことや本で調べたことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする。	○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している	○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	○積極的にクイズにしたい生き物について調べたり必要な事柄を集めたりして、学習課題にそって、「生きものクイズカード」を書こうとしている。
なかまの 言葉と漢字	△意味をもとに仲間に分けた漢字について理解する。	○第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって、漢字の意味のつながりを知ろうとしている。
「言葉のなかまさがしゲーム」をしよう	△言葉が体系性をもって存在していることに気づき、上位語・下位語の概念に基づいて、言葉を探したりまとめたりする。	○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。		○積極的に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって言葉を分類しようとしている。
きつねの おきやくさま	□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもつ。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結びつけて、感想をもっている。	○すすんでお話の中の言葉や表現がもつよさを感じるとともに、学習課題にそって自分の思いや考えを伝え合おうとしている。
いなばの しろうさぎ	△古くから伝わっている話を、興味をもって聞き、場面の様子を想像する。	○昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。	○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	○すすんで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、今までの学習を生かして昔話や神話・伝承の書かれた本を探して読もうとしている。
うれしくなる 言葉	△言葉が表す意味と、その言葉にこめられる気持ちについて考え、話し合う。	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。 ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味に	○「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。	○積極的に言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気づこうとし、学習の見通しをもって「うれしくなる言葉」を伝え合おうとしている。

		よる語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。		
ひろがる 読書のせかい	△「オリジナル図書カード」や「読書ゆうびん」を作成する活動を通して、いろいろな本があることを知る。	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	○読書生活を振り返ったり、読みたい本を選んだりしている。
話したいな、聞きたいな、夏休みのこと	◇夏休みのできごとを、順序を考えて話したり、友達の話を聞いて感想を述べ合ったりする。	○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。	○すすんで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして夏休みのできごとを紹介しようとしている。
てんとうむし	□言葉のリズムや響きを楽しみながら、イメージの自由な広がりをとおして詩を楽しむ。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	○すすんで言葉の響きなどに気をつけて、学習の見通しをもって感想を発表しようとしている。
二つの漢字でできている言葉	△二つの漢字でできた言葉の構成を確認し、二つの漢字のつながり方を考える。	○第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって、二つの漢字でできている言葉を読んだり書いたりしようとしている。
一年生で学んだ漢字②	△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	○第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。(○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	○積極的に文の中における主語と述語の関係に気づこうとし、学習の見通しをもって文や文章を書こうとしている。
わにのおじいさんのたからもの	□文章を読み、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	○学習課題にそって、進んで登場人物が考えていたことを、本文の言葉を根拠に想像しようとしている。
はんたいのいみの言葉、にたいみの言葉	△対義語や類義語があることを知り、身近な言葉から対義語や類義語を集める。	○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。		○積極的に反対の意味をもつものや、似た意味をもつものがあることに気づこうとし、学習の見通しをもって言葉を使おうとしている。

町の「すてき」をつたえます	■生活科の町たんけんで見つけたことやわかったことをもとに、自分の思いや考えが明確になるように事柄の順序にそって簡単な構成を考え、町のすてきを伝える文章を書く。	○文の中における主語と述語との関係に気付いている。 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している	○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	○他教科での学習や経験を関連させながら、事柄の順序にそって構成を考え、報告する文章を書いている。
国語の学習 つながる ひろがる	◇一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。		○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 ○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	○すすんで経験したことから書くことを見つけ、今までの学習を生かして思い出したことや下巻の教科書でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。
さけが大きくなるまで	□さけの成長について、季節や場所、さけの様子の変り変わりを考えながら、内容の大体を読む。	○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考える。 ○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	○積極的に情報と情報との関係について理解しようとして、学習課題にそって、文章の中の重要な語や文を考えて選び出したりしている。
この間に何があった？	□1枚めの写真から視点を定めて、2枚めの写真になった際、何かが起きたことを想像する。	○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	○「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	○すすんで二枚の写真のちがいを比べることを通して、学習課題にそって、二枚の写真の間にあったできごとを想像しようとしている。
おもしろいもの、見つけたよ	■見つけた物をよく見て、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫して、友達に様子が伝わるように詳しく文章を書く。	○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。	○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。	○すすんで、友達に自分が見つけたものの様子がわかるように書き表し方を工夫し、学習課題にそって、文章に対する感想を伝え合おうとしている。
「あいうえお」であそぼう	△折句の文を読み、自分の名前やすきなもの名前を使って折句の文を作る。	○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。		○すすんで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づこうとし、学習の見直しをもって折句の文を作っている。
ないた赤おに	□登場人物の気持ちの移り変わりを考えながら、『ないた赤おに』を読み、心に残ったことを話し合う。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	○すすんで言葉や表現に着目しながらお話を読み、学習課題にそって繰り返し読むことで、初読の感想から自分の考えを深めようとしている。
「お話しじゅつかん」を作ろう	△自分の読んだ本の中でいちばん心に残ったところを絵に描いて紹介する。	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。	○「お話しじゅつかん」を作るという活動に見直しをもち、進んで今までに読んできた

			○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	本を振り返って読んだり、カード作りに取り組んでいたたりしている。
「クラスお楽しみ会」をひらこう	◇話し合いでクラスで行う遊びを決め、「クラスお楽しみ会」を開く。	○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している	○「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないでいる。	○積極的に互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつないで、学習課題にそって「クラスお楽しみ会」で遊ぶ遊びを決めるために、グループで話し合おうとしている。
みじかい言葉で	■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりがわかるように書き表し方をくふうして心が動いたことを短い言葉で書く。	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	○すすんで言葉の書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、心が動いたことを短い言葉で書いたり友達の作品のよさを見つけようとしていたりしている。
漢字のつかい方と読み方	△漢字の使い方や読み方、意味などを考えて漢字を正しく使う。	○第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって漢字を正しく使おうとしている。
一年生で学んだ漢字③	△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	○第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	○積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文や文章を書こうとしている。
ジャンプロケットを作ろう	□順序を示す書き方を知る。	○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	○すすんで説明の工夫を見つけようとし、学習課題にそって、感じたことやわかったことをノートにまとめている。
おもちゃのせつめい書を書こう	■おもちゃの作り方や遊び方について、順序にそって構成を考え、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫して説明書を書く。	○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	○すすんで説明する順序に注意し、学習課題にそって、わかりやすく説明する文章を書こうとしている。
せかいじゅうの海が	□音読をとおして言葉のリズムや響きを楽しむとともに、無限に広がる想像の世界を楽しむ。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	○積極的に文章を読んで感じたことやわかったことを共有し、学習の見通しをもって想像したことを発表しようとしている。

かさこじぞう	□文章を読んで、場面や登場人物の様子に着目して具体的に想像し、伝え合ったり演じたりする。	○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	○「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	○すすんで、場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって音読発表会をしようとしている。
かるたであそぼう	△日本に古くから伝承されている昔遊び(かるた)を知り、実際に遊ぶことをとおしてその魅力を知る。	○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている		○すすんで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づき、学習の見通しをもってかるたを楽しもうとしている。
おはじきのあそび方	◇昔の遊びについて、遊び方を調べて説明する。	○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。	○「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。	○積極的に相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして、昔の遊びの遊び方について説明しようとしている。
主語とじゅつ語	△文を読んで、主語と述語の対応を考え、正しく使うことができる。	○文の中における主語と述語との関係に気付いている。		○積極的に文の中における主語と述語との関係に気づき、学習の見通しをもって文を読んだり書いたりしようとしている。
同じ読み方の漢字	△同じ読み方の漢字を集め、漢字を正しく使う。	○第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。		○積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって、同じ読み方の漢字を正しく使おうとしている。
こんなことができるようになったよ	■経験したことやできるようになったことなどについて、必要な事柄を集めたり確かめたりして文章を書き、まちがいがいいか読み返す。	○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。	○粘り強く文章を読み返して、今までの学習を生かして、まちがいを直そうとしたり確かめたりしている。
音や様子をあらわす言葉	△擬声語や擬態語のはたらきなどを理解し、文の中で使う。	○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。		○積極的に、音や様子を表すことができる言葉があることに気づき、学習の見通しをもって文の中で使おうとしている。
組み合わせでできている漢字	△同じ部分をもつ漢字を集め、漢字を正しく使う。	○第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使う		○積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって、同じ部分をもつ漢字を正しく使おうとしている。

		とともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。		
一年生で学んだ漢字④	△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	○第1学年においては、別表の学年別漢字配当表の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使っている。第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。	○積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文を書こうとしている。
アレクサンダとぜんまいねずみ	□何が、どうかわったかに気をつけて読み、あらすじをまとめてお話を紹介する。	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。	○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	○すすんで自分の体験と結びつけながらお話を読み、登場人物の行動や場面の様子に着目し、今までの学習を生かしてあらすじをまとめようとしている。
国語の学習 これまで これから	■一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。		○「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。 ○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。	○すすんで経験したことから書くことを見つけ、今までの学習を生かして思い出したことや三年生でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。

令和6年度 国語科評価規準（第3学年）

単元名	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よく聞いて、じこしようかい	○相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。 ○話し手が伝えたいことの内容を捉えることができる。	○相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	○「話すこと○聞くこと」において、話し手○が伝えたいことの内容を捉えている。	○積極的に相手を見て話したり聞いたりし、学習課題に沿って自己紹介をしようとしている。
どきん	◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。 ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。 ■詩を楽しんで音読する。	○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	○積極的に文章全体の構成や内容の大体を意識し、学習課題に沿って楽しんで詩を音読しようとしている。
わたしのさいごの一日	○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。 ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。 ■日記を書く。	○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っている。	○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	○経験したことや想像したことなどから書くことをすすんで選び、学習課題に沿って日記を書こうとしている。
登場人物の気持ちをたしかめ、そうぞうしたことをつたえ合おう 春風をたどって	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。 ◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。 ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。 ■読んで想像したことを伝え合う。	○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	○「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。	○すすんで、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。
図書館たんてい だん	◎読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。 ■図書館の地図を作り、本を探す。	○読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。		○読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことを積極的に知り、学習課題に沿って学校図書館の工夫について調べようとしている。

国語辞典を使おう	◎辞書の使い方を理解し使うことができる。	○辞書の使い方を理解し使っている。		○すすんで辞書の使い方を理解し、学習課題に沿って国語辞典を使おうとしている。
漢字の広場①	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ○間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	○第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。	○積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
春のくらし	◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。 ■春を感じたことについて、文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う	○語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	○積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
知りたいことを考えながら聞き、しつもんしよう もっと知りたい、友だちのこと	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。 ◎必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。 ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 ■知らせたいことを話したり、知りたいことを質問したりする。	○相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	○「話すこと○聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ○「話すこと○聞くこと」において、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。	○粘り強く話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって話したり、質問したりしようとしている。
漢字の音と訓	◎第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。	○第3学年までに配当されている漢字を読んでいる。		○すすんで第3学年までに配当されている漢字を読み、学習課題に沿ってよりよく漢字を学ぼうとしている。
漢字の広場②	◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ○接続する語句の役割について理解することができる。 ○間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。 ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	○第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。○接続する語句の役割について理解している。	○「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。	○積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして漢字を適切に使った文を作ろうとしている。

<p>まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう 文様こまを楽しむ 【じょうほう】全体と中心</p>	<p>◎全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。 ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 ○段落の役割について理解することができる。 ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。 ■説明する文章を読み、感想を伝え合う。</p>	<p>○段落の役割について理解している。 ○全体と中心など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 ○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。</p>	<p>○すすんで段落相互の関係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って説明する文章を読んだ感想を伝え合おうとしている。</p>
<p>相手に分かりやすいように、あんないの手紙を書こう 気持ちをこめて、「来てください」</p>	<p>◎丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。 ◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。 ■行事を案内する手紙を書く。</p>	<p>○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。 ○丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。</p>	<p>○「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。</p>	<p>○粘り強く、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整え、学習の見通しをもって行事を案内する手紙を書くようにしている。</p>
<p>漢字の広場③</p>	<p>◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ○間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 ■絵を見て想像したことを基に文を書く。</p>	<p>○第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。</p>	<p>○積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。</p>
<p>登場人物のへんかに気をつけて読み、すきな場面について話し合おう まいごのかぎ</p>	<p>◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。 ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。 ■物語を読んで、好きな場面について話し合う。</p>	<p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。</p>	<p>○登場人物の気持ちの変化について、すすんで場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って物語の好きな場面について話し合おうとしている。</p>
<p>俳句を楽しもう</p>	<p>◎易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 ■俳句を音読する。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う ☆五音と七音を組み合わせた詩などを探す活動</p>	<p>○易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。</p>		<p>○すすんで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って俳句を音読しようとしている。</p>
<p>こそあど言葉を使いこなそう</p>	<p>◎指示する語句の役割について理解することができる。</p>	<p>○指示する語句の役割について理解している。</p>		<p>○積極的に指示する語句の役割について理解し、学習課題に沿って使おうとしている。</p>

【じょうほう】引用するとき	◎引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。 ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 ■本などから調べたことを書き留め、引用して文章を書く。	○引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。	○書くことにおいて、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	○積極的に引用のしかたや出典の示し方を理解し使い、学習課題に沿って本などから調べたことを引用して文章を書こうとしている。
つたえたいことをはっきりさせて、ほうこくする文章を書こう 仕事のくふう、見つけたよ 【コラム】符号など	◎相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。 ○改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つことができる。 ○段落の役割について理解することができる。 ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 ■調べたことを報告する文章を書く。	○改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。 ○段落の役割について理解している。	○「書くこと」において、相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	○すすんで相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって調べたことを報告する文章を書こうとしている。
夏のくらし	◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。 ■夏を感じたことについて文章を書く。	○語句の量を増し、文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。	○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	○積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
本は友だち 本で知ったことをクイズにしよう 鳥になったきょうりゅうの話	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。 ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。 ■図鑑や科学読み物を読んで、クイズを出し合う。	○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。	○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	○すすんで幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って本で知ったことをクイズにしようとしている。
わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる	○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。 ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。 ■詩を読んで、思ったことや感じたことを話し合う。	○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	○すすんで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読し、学習課題に沿って詩を読んで思ったことや感じたことを話し合おうとしている。
こんな係がクラスにほしい	◎考えとそれを支える理由や事例について理解することができる。 ◎目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。 ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりすることができる。 ■グループで話し合い、考えを整理してまとめる。	○考えとそれを支える理由や事例について理解している。	○「話すこと〇聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりしている。 ○「話すこと〇聞くこと」において、目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	○すすんで互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめ、学習の見通しをもってグループで話し合い、考えを整理してまとめようとしている。

<p>ポスターを読もう</p>	<p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 ○比較や分類のしかたを理解し使うことができる。 ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。 ■ポスターを読み比べて、考えたことを伝え合う。</p>	<p>○比較や分類のしかたを理解し使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。</p>	<p>○文章を読んで理解したことに基づいて、すすんで感想や考えをもち、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。</p>
<p>書くことを考えるときは</p>	<p>◎比較や分類のしかたを理解し使うことができる。 ◎相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 ■夏休みの思い出を書く。</p>	<p>○比較や分類のしかたを理解し使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○粘り強く集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って夏休みの思い出を書こうとしている。</p>
<p>漢字の組み立て</p>	<p>◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解することができる。</p>	<p>○漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。</p>		<p>○漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて粘り強く理解し、学習課題に沿って漢字の構成を捉えようとしている。</p>
<p>ローマ字</p>	<p>◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くことができる。</p>	<p>○日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。</p>		<p>○すすんでローマ字で表記されたものを読み、学習課題に沿ってローマ字で書いたり入力したりしようとしている。</p>
<p>場面をくらべながら読み、感想を書こう ちいちゃんのかげおくり</p>	<p>◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。 ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。 ■物語を読み、感想をまとめる。</p>	<p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。</p>	<p>○文章を読んで理解したことに基づいて、すすんで感想や考えをもち、学習課題に沿って物語を読んだ感想をまとめようとしている。</p>
<p>修飾語を使って書こう</p>	<p>◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解することができる。 ○言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。</p>	<p>○言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解している。</p>		<p>○粘り強く修飾と被修飾との関係について理解し、学習課題に沿って修飾語を使って文を書こうとしている。</p>
<p>秋のくらし</p>	<p>◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。 ■秋を感じたことについて文章を書く。</p>	<p>○語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。</p>

<p>進行にそって、は んで話し合おう おすすめの一さつ を決めよう</p>	<p>◎比較や分類のしかたを理解し使うことができる。 ◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。 ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 ■グループで役割を決めて話し合い、考えをまとめる。</p>	<p>○比較や分類のしかたを理解し使っている。</p>	<p>○「話すこと〇聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ○「話すこと〇聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。</p>	<p>○粘り強く司会などの役割を果たしながら話し合い、学習の見通しをもって考えをまとめようとしている。</p>
<p>れいの書かれ方 に気をつけて読 み、それをいかし て書こう すがたをかえる大 豆 食べ物のひみつ を教えます</p>	<p>◎比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使うことができる。 ◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の關係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。 ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。 ■筆者の説明の工夫を見つけ、食材について説明する文章を書く。</p>	<p>○比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。 ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。</p>	<p>○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の關係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。</p>	<p>○目的を意識して、粘り強く中心となる語や文を見つけたり、それらを明確にして文章の構成を考えたりし、学習の見通しをもって筆者の説明の工夫をいかした文章を書こうとしている。</p>
<p>ことわざ〇故事成 語</p>	<p>◎長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使うことができる。 ○目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。 ■ことわざの意味を調べ、ことわざ辞典を作る。</p>	<p>○長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○積極的にことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使い、学習課題に沿ってことわざ辞典を作ろうとしている。</p>
<p>漢字の意味</p>	<p>◎漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使うことができる。</p>	<p>○漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使っている。</p>		<p>○積極的に漢字と仮名を用いた表記を理解し、これまでの学習をいかして文や文章の中で使おうとしている。</p>
<p>短歌を楽しもう</p>	<p>◎易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。</p>	<p>○易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。</p>		<p>○すすんで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って短歌を音読したり暗唱したりしようとしている。</p>
<p>漢字の広場④</p>	<p>◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ○間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。 ■絵を見て想像したことを基に文を書く。</p>	<p>○第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。</p>	<p>○積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。</p>

登場人物の行動や気持ちをとらえて、えらんだ民話をしようかいしう三年とうげ	◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。 ○引用のしかたを理解し使うことができる。 ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 ■民話や昔話を紹介する。	○引用のしかたを理解し使っている。 ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 ○「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。		○登場人物の行動や気持ちなどについて、積極的に叙述を基に捉え、学習課題に沿って民話や昔話を紹介しようとしている。
しょうかいする文章を書き、感想をつたえ合おうわたしの町のよいところ	◎書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。 ○考えとそれを支える理由について理解することができる。 ■町のよさを紹介する文章を書く。	○考えとそれを支える理由について理解している。	○「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。	○積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけ、学習課題に沿って町のよさを紹介する文章を書こうとしている。
冬のくらし	◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。 ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。 ■冬を感じたことについて文章に書く。	○語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。	○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	○積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
詩のくふうを楽しもう	○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。 ○文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 ■詩を創作する。	○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	○「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	○すすんで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読し、学習課題に沿って詩を創作しようとしている。
四まいの絵を使って	◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。 ○段落の役割について理解することができる。	○段落の役割について理解している。	○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。	○書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えることに粘り強く取り組み、学習課題に沿って物語の流れを書こうとしている。
カンジーはかせの音訓かるた	◎第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。また、第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第3学年に	○第3学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使		○すすんで第3学年までに配当されている漢字を読み、学習課題に沿って漢字の音訓を使った文を書こうとしている。

	<p>担当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。</p>	<p>うとともに、第3学年に担当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>		
漢字の広場⑤	<p>◎第2学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>○間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。</p> <p>■絵を見て想像したことを基に文を書く。</p>	<p>○第2学年までに担当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。</p>	<p>○積極的に第2学年までに担当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。</p>
読んで考えたことをつたえ合おう ありの行列	<p>◎指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。</p> <p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。</p> <p>◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。</p> <p>○言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。</p> <p>■文章を読んで考えたことを伝え合う。</p>	<p>○言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。</p> <p>○指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。</p>	<p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。</p>	<p>○すすんで文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。</p>
言葉について考えよう つたわる言葉で表そう	<p>◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。</p> <p>◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。</p> <p>○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。</p> <p>■相手に伝わる文章を書く。</p>	<p>○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。</p> <p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。</p>	<p>○言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに積極的に気づき、学習の見通しをもって相手に伝わる文章を書くようとしている。</p>
書き表し方をくふうして、物語を書こう たから島のぼうけん	<p>◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。</p> <p>◎書き表し方を工夫することができる。■物語を創作する。</p>	<p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「書くこと」において、書き表し方を工夫している。</p>	<p>○すすんで様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにし、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。</p>
つたえたいことを、理由をあげて話そう お気に入りの場所、教えます	<p>◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。</p> <p>◎相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考慮することができる。</p> <p>○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解することができる。</p>	<p>○相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。</p> <p>○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。</p> <p>○「話すこと○聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。</p>	<p>○すすんで話の中心が明確になるように話の構成を考え、学習課題に沿ってお気に入りの場所を発表しようとしている。</p>

	<p>○話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。</p> <p>■お気に入りの場所を発表する。</p>			
登場人物について考えたことを、つたえ合おう モチモチの木	<p>◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。</p> <p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。</p> <p>○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。</p> <p>■登場人物について考えたことをまとめ、伝え合う。</p>	<p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。</p>	<p>○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。</p>	<p>○登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わり結び付けて具体的に粘り強く想像し、学習課題に沿って考えたことをまとめ、伝え合おうとしている。</p>
漢字の広場⑥	<p>◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>○修飾と被修飾との関係について理解することができる。</p> <p>○間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。</p> <p>■絵を見て想像したことを基に文を書く。</p>	<p>○第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>○修飾と被修飾との関係について理解している。</p>	<p>○間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。</p>	<p>○積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。</p>
三年生をふり返って	<p>○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。</p> <p>○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。</p> <p>■1年間の国語科での学びを振り返って、書く。</p>	<p>○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。</p>	<p>○「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○すすんで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。</p>

令和6年度 国語科評価規準（第4学年）

単元名	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よく見て、よく聞いて、受け止めよう つないで つないで	◇相手が言葉や動きをとおして伝えたいことは何か考えながら聞き、相手が伝えたいことの手を捉え、自分の考えをもつ。	○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(1)ア)	○「話すこと○聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの手を捉え、自分の考えをもっている。(A(1)エ)	○相手の言葉や動きを受け止め、相手が伝えたいことは何かすすんで考え、自分の考えをもとうとしている。
一 物語の「ふしぎ」について考えよう 白いぼうし	□物語の「ふしぎ」について考え、短い言葉で表し、紹介し合う。	○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	○不思議なできごとが起こるきっかけを見つけながらすすんで物語の「不思議」に思うところを見つけ、「不思議」について考えたことを短い言葉で表し、伝え合おうとしている。
自分の気持ちに合った言葉で表そう 見つけよう、ぴったりの言葉	■心が動いたできごとを、短い文章で表現する。	○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ○漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。	○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	○すすんで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、学習の見通しをもって、心が動いたできごとを短い文章で表現しようとしている。
漢字の広場① 漢字の部首	△漢字の部首について知り、漢字を覚えたり使ったりするときに役立てる。	○漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。		○すすんで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見通しをもって、漢字を覚えたり使ったりするときに役立てようとしている。
二 けっかと考察とのつながりをとらえよう ぞうの重さを量る	□象の重さを量るという問題をつかむ過程や解決する過程の考えの筋道を、叙述をおさえながら読む。	○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	○「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている ○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。	○すすんで、読みやすい文章のポイントについて考えることをとおして、学習課題にそって、筋道立てて文章を書こうとしている。

<p>二 けっかと考察とのつながりをとらえよう 花を見つける手がかり</p>	<p>□「もんしろちょうは何を手がかりに花を見つけるか」という問題を解明していく一つ一つの実験の結果とそこから引き出される結論、実験を繰り返していく考えの筋道などを、叙述をおさえながら読む。</p>	<p>○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。 ○「読むこと」において、段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 ○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。</p>	<p>○積極的に、言葉に着目しながら実験内容を読み取り、学習課題にそって、段落相互の關係をおさえながら文章を読もうとしている。</p>
<p>読書の広場① 分類をもとに本を見つけよう</p>	<p>△学校や地域の図書館へ行き、「日本十進分類法」を利用して本を探して読んだり、図書館の分類の仕方を確かめたりする。</p>	<p>○比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。</p>	<p>○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。</p>	<p>○分類を手がかりに目的の本を見つけ、読んでわかったことを記録しようとしている。</p>
<p>言葉の広場① 漢字辞典の使い方</p>	<p>△漢字辞典の引き方を理解し、活用する。</p>	<p>○比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 ○漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。</p>		<p>○積極的に辞書や事典の使い方を理解し、学習の見通しをもって漢字辞典を活用しようとしている。</p>
<p>必要なじょうほうを落とさないように聞こう メモの取り方のくふう</p>	<p>◇メモの取り方を工夫したり、質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心を捉え、自分の考えをもつ。</p>	<p>○比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心を捉え、自分の考えをもっている。</p>	<p>○メモの取り方を工夫したり、相手に質問したりしながら、必要な情報について積極的に聞き、自分の考えをもとうとしている。</p>
<p>三 伝わりやすい組み立てを考えて書こう リーフレットでほうこく</p>	<p>■リーフレットの特徴を生かした組み立てを考え、見学したことや調べたことを報告する。</p>	<p>○漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。</p>	<p>○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の關係に注意したりして、文章の構成を考えている。</p>	<p>○積極的に、書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考え、学習の見通しをもってリーフレットの組み立てを考えようとしている。</p>

<p>相手やもくてきに 合わせて手紙を 書こう いろいろな手紙</p>	<p>■手紙の書き方を知り、送る相手や伝える目的に合わせて手紙を書く。</p>	<p>○丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。</p>	<p>○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○粘り強くまちがいを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認、学習の見通しをもって、送る相手や伝える目的に合わせて手紙を書こうとしている。</p>
<p>言葉の文化① 短歌の世界</p>	<p>△短歌を声に出して読み、言葉のリズムにふれる。</p>	<p>○易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。</p>	<p>○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)</p>	<p>○すすんで易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどし、学習の見通しをもって、言葉のリズムを楽しんだり様子や気持ちを想像したりしようとしている。</p>
<p>都道府県名に用 いる漢字</p>	<p>△都道府県名に用いる漢字などを使って文を書く。</p>	<p>○3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>		<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題にそって、都道府県名を覚えたり書いたりしようとしている。</p>
<p>三年生で学んだ 漢字②</p>	<p>△絵を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p>	<p>○相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。</p>	<p>○「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。</p>	<p>○すすんで場面の様子や登場人物の気持ちを具体的に想像して読み、おもしろいと思ったところを伝え合い、今までの学習を生かして落語を音読したり演じたりして楽しもうとしている。</p>
<p>読書の広場② ひろがる読書の 世界</p>	<p>△「本について語り合う」、「同じ作者の本を読む」という学習活動を通して、幅広く読書に親しむ。</p>	<p>○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。</p>	<p>○読書生活を振り返り、読みたい本を選んだり、これからの読書生活を考えたりしている。</p>
<p>五 話の組み立て を考えて発表しよう 写真から読み取る</p>	<p>◇伝えたいことをはっきりさせて、理由や事例などをあげながら筋道を立てて話す。</p>	<p>○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。</p>	<p>○粘り強く、理由や事例などを挙げながら話の中心が明確になるように構成を考え、学習の見通しをもって、写真から読み取ったことを話そうとしている。</p>

<p>六 集めたざいり ようでわかりやす く伝えよう 作ろう学級新聞</p>	<p>■割り付けを工夫して、わかりやすい紙面の新聞を作る。</p>	<p>○漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。 ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○粘り強くまちがいを正したり文章を整えたりし、学習の見通しをもって新聞を作ろうとしている。</p>
<p>漢字の広場③ 送りがなのつけ方</p>	<p>△送り仮名は、漢字の読みや意味をはっきりさせるはたらきをもつことを理解し、漢字を正しく使う。</p>	<p>○字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。</p>		<p>○すすんで送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使い、学習課題にそって、漢字を正しく使おうとしている。</p>
<p>三年生で学んだ 漢字③</p>	<p>△絵を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p>	<p>○第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。</p>	<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。</p>
<p>七 場面の様子を くらべて読み、感 想をまとめよう 一つの花</p>	<p>□場面の様子を比べて読み、感想を伝え合う。</p>	<p>○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。</p>	<p>○すすんで場面の様子を比べて読み、大切な言葉から作品に込められたメッセージや作者の思いを積極的に想像し、今までの学習を生かし、自分の考えたことや感想を感想文に書いて、伝え合おうとしている。</p>
<p>言葉の広場② 修飾語</p>	<p>△文の中での修飾語のはたらきを理解する。</p>	<p>○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。</p>		<p>○すすんで修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見通しをもって、修飾語を見つけたり、修飾語の種類を見分けたりしようとしている。</p>
<p>八 自由に想像を 広げて書こう 作ろう！「ショート ショート」</p>	<p>■不思議な言葉を作り、想像を広げて「ショートショート」を書く。</p>	<p>○漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常</p>	<p>○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較した</p>	<p>○積極的に、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類した</p>

		使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。	り分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	りし、学習の見通しをもって「ショートショート」を書こうとしている。
言葉の文化② 「月」のつく言葉	△昔から「月」に対してさまざまな呼称があったことを知り、「月」に関する言葉を集める。	○長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使っている。	○「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	○すすんで「月」に関わる言葉を音読するなどして言葉の響きやリズムに親しみ、学習の見通しをもって「月」に関する言葉を集めようとしている。
国語の学習 つながる ひろがる	■一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、すすんで学習できるようにする。	○相手を見て話したり聞いたりしていると、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	○「話すこと〇聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 ○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	○すすんで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、今までの学習を生かして、上巻の教科書での国語の学習を振り返ったり下巻の教科書での国語の学習への希望を話し合ったりしようとしている。
一 登場人物の気持ちの変化を考えて、日記を書こう ごんぎつね	□登場人物「ごん」の気持ちを詳しく想像して読み、気持ちの変化がわかるように「ごん日記」を書く。	○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	○すすんで、登場人物の気持ちの変化や情景について場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習課題にそって登場人物になりきって、気持ちの変化がわかるように日記を書こうとしている。
読書の広場③ 「読書発表会」をしよう	△紹介したい本を何冊か選び、「読書発表会」を行い、読書の幅を広げる。	○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	○ブックトークに向けて、すすんで本を集めたり発表内容を考えたりし、粘り強く活動に取り組んでいる。
言葉の広場③ 言葉が表す感じ、言葉から受ける感じ	△言葉や音が表すイメージや、イメージに即した言葉を考えたりすることによって、言葉の特性について考える。	○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。	○「話すこと〇聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。	○すすんで、言葉には考えたことや思ったことを表すはたらきがあることに気づこうとし、学習課題にそって、言葉がもつイメージについて考えようとしている。
二 役わりに気をつけて話し合おう みんなが楽しめる新スポーツ	◇司会者や発言者などの役割を果たしながら、話し合いの進行に合わせ、互いの考えを伝え合って話し合う。	○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ○比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解している。	○「話すこと〇聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	○積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし、学習の見通しをもってクラスで話し合おうとしている。

漢字の広場④ いろいろな意味を表す漢字	△一つの漢字には、複数の意味がある場合が多いことを理解する。	○第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習課題にそって、漢字がもつ複数の意味について考えようとしている。
三年生で学んだ漢字④	△絵を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。	○第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
三 大事な言葉や文に気をつけて要約しよう ウミガメの命をつなぐ	□ウミガメの産卵や成長を研究する名古屋港水族館の取り組みを時系列にそって読み、興味をもった点から整理して文章を要約する。	○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ○比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使っている。	○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	○すすんで、本文を読んで自分が興味をもった部分を要約することを通して、学習課題にそって、本文をわかりやすく紹介する文章を書こうとしている。
言葉の広場④ 二つのことがらをつなぐ言葉	△二つの事柄をつなぐとき、使う言葉によって内容が大きく変わることを理解し、接続語のはたらきを意識して、正しく使い分ける。	○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。		○すすんで接続する語句の役割について理解し、学習の見通しをもって、接続語のはたらきを意識して正しく使い分けようとしている。
四 調べたことをわかりやすく書こう クラスの「不思議ずかん」を作ろう	■図や写真などの資料を活用し、紙面を工夫して図鑑を作る。	○比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方理解し使っている。	○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	○積極的に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって「不思議ずかん」を作ろうとしている。
言葉の文化③ 故事成語	△故事成語の意味を知り、友達に紹介するためのカードを作る。	○長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使っている。	○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	○積極的に、長い間使われてきた故事成語の意味を知り、学習の見通しをもってカードにまとめようとしている。

詩を読もう いろいろな詩／お おきな木	□さまざまな形の作品を読みながら、詩の世界を 楽しむ。	○文章全体の構成や内容の大体を意識 しながら音読している。	○「読むこと」において、登場人物の気持 ちの変化や性格、情景について、場面の 移り変わりと結び付けて具体的に想像し ている。	○すすんで、詩を読んで理解したこと に基づいて感想や考えをもち、学習の見通 しをもって発表し合おうとしている。
漢字の広場⑤ 熟語のでき方	△二つの漢字を組み合わせた熟語の構成につい て、問題を解きながら確認し、二つの漢字のつなが り方を考える。	○第3学年及び第4学年の各学年におい ては、学年別漢字配当表の当該学年まで に配当されている漢字を読んでいる。ま た、当該学年の前の学年までに配当され ている漢字を書き、文や文章の中で使うと ともに、当該学年に配当されている漢字を 漸次書き、文や文章の中で使っている。		○積極的に前学年や当該学年で配当さ れている漢字を使い、学習課題にそっ て、二つの漢字を組み合わせた熟語の構 成について考えようとしている。
五 自分の経験と 結びつけて考えた ことを伝え合おう くらしを便利にする ために	□「便利」とはどういうことかを考えながら読み、自 分の経験と照らし合わせながら考えをまとめる。	○考えとそれを支える理由や事例、全体 と中心など情報と情報との関係について 理解している。 ○比較や分類の仕方、必要な語句などの 書き留め方、引用の仕方や出典の示し 方、辞書や事典の使い方理解し使っ ている。	○「書くこと」において、自分の考えとそれ を支える理由や事例との関係を明確にし て、書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理 解したことに基づいて、感想や考えをもっ ている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感 じたことや考えたことを共有し、一人一人 の感じ方などに違いがあることに気づいて いる。	○積極的に筆者の考えと自分の考えを比 べながら読むことを通して、具体例な経験 をもとに考えをまとめることの有効性に気 づいている。
目で見る言葉で 話そう 手話であいさつを しよう	◇声を使わないで考えや思いを伝え合う手話につ いて知り、簡単な挨拶をする。	○言葉には、考えたことや思ったことを表 す働きがあることに気付いている。	○「話すこと○聞くこと」において、目的を 意識して、日常生活の中から話題を決 め、集めた材料を比較したり分類したりし て、伝え合うために必要な事柄を選ん でいる。	○手話には考えや思いを伝えるはたらき があることに気づき、学習課題にそってす すんで手話であいさつをしようとしている。
六 調べてわかっ たことを発表しよ う 「便利」をさがそう	◇調べてわかったことを、相手に伝わるように資料 を示したり、話し方を工夫して、発表する。 ★ここが大事：資料を使って、伝わるようにくふうし て発表する	○比較や分類の仕方、必要な語句などの 書き留め方、引用の仕方や出典の示し 方、辞書や事典の使い方理解し使っ ている。	○「話すこと○聞くこと」において、話の中 心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や 強弱、間の取り方などを工夫している。	○身のまわりの「便利」について調べ、わ かったことを図などの資料を示しながら、 言葉の調子や強弱、間の取り方に気をつ けて発表しようとしている。
言葉の広場⑤ 点(、)を打つところ	△読点のはたらきを理解して、正しく使い分ける。	○漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の 付け方、改行の仕方を理解して文や文章 の中で使うとともに、句読点を適切に打っ ている。 ○主語と述語との関係、修飾と被修飾と の関係、指示する語句と接続する語句の 役割、段落の役割について理解してい る。		○すすんで句読点のはたらきを理解し、 学習課題にそって、文や文章の中で適切 に使おうとしている。

<p>七 伝えたいことをはっきりさせて書こう 自分の成長をふり返って</p>	<p>■様子がわかるように、よりよい表現を選んで書く。</p>	<p>○漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。 ○主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ○「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。</p>	<p>○積極的に、書こうとしたことが明確になっているかなど文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって、よりよい表現を選んで文章を書こうとしている。</p>
<p>言葉の文化④ 雪</p>	<p>△「雪」を扱った言語表現を集める。</p>	<p>○長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。</p>	<p>○すすんで、長い間使われてきた「雪」に関わる言葉の意味を知ろうとし、学習の見通しをもって「雪」に関する詩歌や言葉を集めようとしている。</p>
<p>漢字の広場⑥ 同じ読み方の漢字の使い分け</p>	<p>△異字同訓や同音異義語の使い分けについて意識をもって、漢字を読んだり書いたりする。</p>	<p>○漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。</p>		<p>○すすんで同じ読み方の漢字の使い分けを理解し、学習課題にそって、文や文章の中で正しく使おうとしている。</p>
<p>三年生で学んだ漢字⑥</p>	<p>△絵を見て想像したことをもとに、3年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p>	<p>○第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。</p>	<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題にそって、お話の一場面を書こうとしている。</p>
<p>八 登場人物のせいかくや気持ちのうつり変わりを読もう 人形げき 木竜うるし</p>	<p>□登場人物の性格の違いや気持ちの移り変わりを考えながら読み、考えを伝え合う。</p>	<p>○相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。</p>	<p>○「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。</p>	<p>○積極的に登場人物の性格の違いや気持ちの移り変わりを考え、学習課題にそって、考えたことを根拠をはっきりさせて伝え合おうとしている。</p>

<p>国語の学習 これまで これから</p>	<p>■一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、すすんで学習できるようにする。</p>	<p>○相手を見て話したり聞いたりしているととも、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 ◎「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。</p>	<p>○すすんで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、今までの学習を生かして、一年間の国語の学習を振り返ったり次年への希望を話し合ったりしようとしている。</p>
------------------------	---	--	---	--

令和6年度 国語科評価規準（第5学年）

単元名	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ひみつの言葉を引き出そう	<p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知○技(1)ア)</p> <p>○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができる。(思○判○表 A(1)ア)</p> <p>○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。(思○判○表 A(1)エ)</p> <p>■友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話す。</p>	<p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討している。</p> <p>○「話すこと○聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。</p> <p>○すすんで自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話そうとしている。</p>	<p>○すすんで自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもって友達から「ひみつの言葉」を引き出せるように話そうとしている。</p>
かんがえるのっておもしろい	<p>◎詩を音読することができる。(知○技(1)ケ)</p> <p>○詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思○判○表 C(1)カ)</p> <p>■音読して、想像したことを伝え合う。</p>	<p>○詩を音読している。</p>	<p>○「読むこと」において、詩を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げている。</p>	<p>○すすんで詩を音読し、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。</p>
名前を使って、自己しょうかい続けてみよう	<p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知○技(1)ア)</p> <p>○文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解することができる。(知○技(1)カ)</p> <p>○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思○判○表 B(1)ア)</p> <p>○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思○判○表 B(1)カ)</p> <p>■自分を紹介する文章を書く。</p>	<p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。((1)ア)</p> <p>○文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいく。</p> <p>○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけていく。</p>	<p>○積極的に文章の構成や展開について理解し、これまでの学習をいかして自分を紹介する文章を書こうとしている。</p>
人物の心情や人物どうしの関わりをとらえ、印象に残ったことを伝え合おう	<p>銀色の裏地 5時間(読⑤)</p> <p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知○技(1)ク)</p> <p>◎登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。(思○判○表 C(1)イ)</p> <p>○情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知○技(2)イ)</p> <p>■印象に残ったことを伝え合う。</p> <p>☆友情、信頼や相互理解に関わる題材(道徳)</p>	<p>○比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。((1)ク)</p> <p>○情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。</p>	<p>○粘り強く登場人物の相互関係や心情を捉え、学習の見通しをもって印象に残ったことを伝え合おうとしている。</p>

図書館を使いこなそう	◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知○技(3)オ) ■本を探して、記録カードを書く。 ☆図書館で本を探す活動(図書館活用)	○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。		○すすんで読書が自分の考えを広げることに関与することに気づき、これまでの学習をいかして本を探して、記録カードを書こうとしている。
漢字の成り立ち	◎漢字の由来、特質などについて理解することができる。(知○技(3)ウ)	○漢字の由来、特質などについて理解している。		○すすんで漢字の由来、特質などに関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
春の空	◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知○技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知○技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思○判○表 B(1)ア) ■春らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)	○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((1)オ) ○親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいく。	○積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って春らしいものや様子を文章に書こうとしている。
きいて、きいて、きいてみよう	6時間(話○聞⑥) ◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知○技(2)イ) ◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思○判○表 A(1)エ) ○話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。(知○技(1)イ) ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思○判○表 A(1)ア) ■インタビューをし、報告する。 ☆インタビューを行い、報告する活動(社会、総合的な学習の時間) ☆インタビューの録音○録画(ICT活用)	○話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。 ◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	○「話すこと○聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと○聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	○粘り強く話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、学習の見通しをもってインタビューをしたり、報告したりしようとしている。
見立てる言葉の意味が分かること 【情報】原因と結果	7時間(知○技①、読⑥) ◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知○技(2)ア) ◎事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思○判○表 C(1)ア)	○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。	○粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。

	<p>○文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知○技(1)カ)</p> <p>○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思○判○表 C(1)オ)</p> <p>■考えたことを伝え合う。</p> <p>☆外国語や異文化への興味をもち、理解する態度を養う題材(外国語、道徳、総合的な学習の時間)</p>		<p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p>	
敬語	<p>◎日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(知○技(1)キ)</p> <p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知○技(1)ア)</p> <p>☆礼儀や言葉遣いが、円滑な人とのつながりをつくることについて考える題材(道徳)</p>	<p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。</p> <p>○日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。</p>		<p>○すすんで日常よく使われる敬語について理解し、学習課題に沿って使い慣れようとしている。</p>
日常を十七音で	<p>◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知○技(1)ク)</p> <p>◎俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えることができる。(思○判○表 B(1)オ)</p> <p>○俳句の中で漢字と仮名を適切に使い分けことができる。(知○技(1)ウ)</p> <p>○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思○判○表 B(1)ウ)</p> <p>■俳句を作る。</p>	<p>○俳句の中で漢字と仮名を適切に使い分けている。</p> <p>○比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「書くこと」において、俳句の構成や書き表し方などに着目して、俳句を整えている。</p>	<p>○粘り強く構成や書き表し方などに着目して文言を整え、学習の見通しをもって俳句を作ろうとしている。</p>
漢字の広場①	<p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知○技(1)エ)</p> <p>○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思○判○表 B(1)オ)</p> <p>■示された言葉を使って、絵を基にして文を書く。</p>	<p>○第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p>	<p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p>	<p>○すすんで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
古典の世界(一)	<p>◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親むことができる。(知○技(3)ア)</p> <p>○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりするを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知○技(3)イ)</p> <p>■古文を音読する。</p> <p>☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)</p>	<p>○親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。</p> <p>○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりするを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。</p>		<p>○すすんで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って古文を音読しようとしている。</p>

【情報】目的に応じて引用するとき	◎引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思○判○表 B(1)エ) ○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができる。(知○技(2)イ) ■引用カードを書く。 ☆レポート等を作成する際に、目的に応じて適切な引用を行う活動(理科、社会、総合的な学習の時間)	○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。	○「書くこと」において、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	○すすんで目的に応じた引用のしかたを理解し、学習課題に沿って引用カードを書こうとしている。
みんなが使いやすいデザイン	◎目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思○判○表 B(1)ア) ○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使うことができる。(知○技(2)イ) ■報告する文章を書く。 ☆よりよい社会や学校生活をつくろうと考える題材(道徳、総合的な学習の時間) ☆調べたことを報告する文章の書き方を工夫する活動(理科、社会、総合的な学習の時間) ☆インターネットによる情報収集(ICT活用)	○情報と情報との関係づけのしかたを理解し使っている。(2)イ) ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。		○粘り強く目的や意図に応じて集めた材料を分類したり関係づけたりし、学習の見通しをもって報告する文章を書こうとしている。
同じ読み方の漢字	◎第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知○技(1)エ)	○第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)		○すすんで同じ読み方の漢字の使い分けに関心をもち、これまでの学習をいかしてそれらを理解しようとしている。
夏の夜	◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知○技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知○技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思○判○表 B(1)ア) ■夏らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)	○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 ○親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいく。	○積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って夏らしいものや様子を文章に書こうとしている。
作家で広げるわたしたちの読書モモ	◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知○技(3)オ) ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思○判○表 C(1)カ) ■本の魅力を伝え合う。 ☆作家を意識して選んだ本を読む活動(図書館活	○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。	○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	○積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の魅力を伝え合おうとしている。

	用)			
かぼちゃのつるが われは草なり	2時間(読②) ◎比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知○技(1)ク) ○詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思○判○表 C(1)エ) ■考えたことを伝え合う。	○比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。	○「読むこと」において、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	○すすんで比喩や反復などの表現の工夫に気づき、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
どちらを選びますか	◎思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。(知○技(1)オ) ◎互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思○判○表 A(1)オ) ■立場に分かれて話し合う。 ☆適切な資料を用意し、相手が納得する説明をする活動(特別活動)	○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。	○「話すこと○聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている	○積極的に互いの立場を明確にして、これまでの学習をいかして立場に分かれて話し合おうとしている。
新聞を読む	◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思○判○表 C(1)ウ) ○文章の構成や、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知○技(1)カ) ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思○判○表 C(1)ア) ■新聞記事を読む。 ☆新聞記事等による情報収集(社会、総合的な学習の時間)	○文章の構成や、文章の種類とその特徴について理解している。	○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。	○すすんで必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりし、学習課題に沿って新聞記事を読もうとしている。
文章に説得力をもたせるには	◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮することができる。(思○判○表 B(1)イ) ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知○技(1)カ) ■考えたことを伝え合う。	○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	○積極的に筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。

漢字の広場②	<p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知○技(1)エ)</p> <p>○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思○判○表 B(1)オ)</p> <p>■示された言葉を使って、絵を基にして文を書く。</p>	<p>○第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p>	<p>○すすんで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
たずねびと	<p>6時間(読⑥)</p> <p>◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思○判○表 C(1)エ)</p> <p>○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知○技(1)ク)</p> <p>■考えたことを伝え合う。</p> <p>☆戦争や平和について考えさせるとともに、平和を願う心を養う題材(道徳)</p> <p>☆紹介された本を選んで読む活動(図書館活用)</p>	<p>○比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(知○技(1)ク)</p>	<p>○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。</p>	<p>○粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。</p>
漢字の広場③	<p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知○技(1)エ)</p> <p>○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思○判○表 B(1)オ)</p> <p>■示された言葉を使って、絵を基にして文を書く。</p>	<p>○第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p>	<p>○すすんで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
方言と共通語	<p>◎共通語と方言との違いを理解することができる。(知○技(3)ウ)</p>	<p>○共通語と方言との違いを理解している。</p>		<p>○すすんで方言と共通語の違いに関心を持ち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。</p>
秋の夕	<p>◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知○技(3)ア)</p> <p>○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知○技(1)オ)</p> <p>○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思○判○表 B(1)ア)</p> <p>■秋らしいものや様子を文章に書く。</p> <p>☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)</p>	<p>○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p> <p>○親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいく。</p>	<p>○積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って秋らしいものや様子を文章に書こうとしている。</p>
<p>よりよい学校生活のために</p> <p>【コラム】意見が対立したときには</p>	<p>◎情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。(知○技(2)イ)</p> <p>◎目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができる。(思○判○表 A(1)ア)</p>	<p>○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。</p> <p>○情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している。</p> <p>○「話すこと○聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話</p>	<p>○粘り強く互いの立場や意図を明確にしながらか、学習の見通しをもって身の回りの問題を解決するために話し合おうとしている。</p>

	<p>◎互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(思○判○表 A(1)オ)</p> <p>○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。(知○技(1)オ)</p> <p>■身の回りの問題について、それぞれの立場から考えを伝えて話し合う。</p> <p>☆身近な問題に気づき、仲間と共に解決を図る学習(特別活動、社会、総合的な学習の時間)</p> <p>☆ICT端末の機能を使って、出てきた考えを整理する活動(ICT活用)</p>		<p>し合い、考えを広げたりまとめたりしている。</p>	
浦島太郎——「御伽草子」より	<p>◎古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知○技(3)イ)</p> <p>○親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知○技(3)ア)</p> <p>○時間の経過による言葉の変化に気づくことができる。(知○技(3)ウ)</p> <p>■古典の文章を読み、知っている話と比べて思ったことを話す。</p> <p>☆二次元コードから朗読を視聴(ICT活用)</p>	<p>○親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。</p> <p>○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。</p> <p>○時間の経過による言葉の変化に気づいている。</p>		<p>○すすんで昔の人のものの見方や感じ方を知り、学習課題に沿って古典の文章について思ったことを話そうとしている。</p>
和語○漢語○外来語	<p>◎語句の由来などに関心をもつとともに、世代による言葉の違いに気づくことができる。(知○技(3)ウ)</p> <p>○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知○技(1)オ)</p>	<p>○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p> <p>○語句の由来などに関心をもつとともに、世代による言葉の違いに気づいている。</p>		<p>○すすんで和語○漢語○外来語などの由来に関心をもち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。</p>
固有種が教えてくれること 自然環境を守るために 【コラム】統計資料の読み方	<p>◎原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知○技(2)ア)</p> <p>◎引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思○判○表 B(1)エ)</p> <p>◎目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。(思○判○表 C(1)ウ)</p> <p>○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくことができる。(知○技(3)オ)</p> <p>○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思○判○表 C(1)ア)</p> <p>■筆者の説明のしかたの工夫について、考えをまとめて話し合ったり、統計資料を根拠にして意見文を書いたりする。</p>	<p>○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づいている。</p>	<p>○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。</p> <p>○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。</p>	<p>○粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見直しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして統計資料を用いた意見文を書こうとしている。</p>

	<p>☆図表○グラフ等と文章を関連させながら、説明されていることを読み取る活動(社会、算数、理科)</p> <p>☆理由や根拠を明確にしながらか自分の考えを記述する活動(社会、理科、家庭科)</p> <p>☆固有種や環境について目を向けて考える題材(理科)</p> <p>☆統計資料がある本を読む活動(図書館活用)</p> <p>☆グラフや表の作成(ICT活用)”</p>			
カンジエ博士の暗号解読	<p>2時間(知○技②)</p> <p>◎第5学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知○技(1)エ)</p>	<p>○親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。</p> <p>○作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。</p>		<p>○すすんで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って漢文を音読しようとしている。”</p>
古典の世界(二)	<p>◎親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知○技(3)ア)</p> <p>○作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。(知○技(3)イ)</p> <p>■漢文を音読する。</p> <p>☆国語に対する関心と、我が国の文化と伝統に対する理解と愛情を養う題材(道徳)</p>	<p>○親しみやすい漢文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。</p> <p>○作品の内容の大体を知ることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。</p>		<p>○すすんで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って漢文を音読しようとしている。</p>
漢字の広場④	<p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知○技(1)エ)</p> <p>○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思○判○表 B(1)オ)</p> <p>■示された言葉を使って、それぞれの県についての文を書く。</p>	<p>○第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p>	<p>○すすんで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>
伝記を読み、自分の生き方について考えよう	<p>◎日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができる。(知○技(3)オ)</p> <p>◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思○判○表 C(1)オ)</p> <p>○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。(思○判○表 C(1)イ)</p> <p>■伝記を読み、自分の生き方について考えたことを交流する。</p> <p>☆自分の郷土に目を向けさせる題材(総合的な学習の時間)</p> <p>☆伝記の選書(図書館活用)</p>	<p>○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。(3)オ)</p>	<p>○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ)</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ)</p>	<p>○積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習課題に沿って考えたことを交流しようとしている。</p>

<p>あなたは、どう考える</p>	<p>◎語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知○技(1)オ) ◎文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思○判○表 B(1)カ) ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。(知○技(1)カ) ○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思○判○表 B(1)ウ) ■意見文を書く。 ☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動(社会、総合的な学習の時間) ☆意見や理由とその根拠を説明する活動(社会、総合的な学習の時間) ☆ICT端末に文章構成の表を用意し、付箋機能を使い、文章の構成を考える活動(ICT活用)</p>	<p>○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。</p>	<p>○積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。</p>
<p>冬の朝</p>	<p>◎親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知○技(3)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知○技(1)オ) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思○判○表 B(1)ア) ■冬らしいものや様子を文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う題材(道徳)</p>	<p>○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 ○親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。</p>	<p>○積極的に言葉の響きやリズムに親しみ、学習の課題に沿って冬らしいものや様子を文章に書こうとしている。</p>
<p>好きな詩のよさを伝えよう</p>	<p>○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知○技(1)ク) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思○判○表 B(1)ア) ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思○判○表 C(1)カ) ■詩を紹介する文章を書く。 ☆詩集を読む活動(図書館利用)</p>	<p>○比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいる。 ○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</p>	<p>○積極的に詩を読んでまとめた感想を共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとしている。</p>
<p>言葉でスケッチ</p>	<p>◎目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思○判○表 B(1)ウ)</p>	<p>○比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて事実と感想とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>○粘り強く自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、学習課題に沿って情景が伝わるように書こうとしている。</p>

	○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知○技(1)ク) ■情景が伝わるように書く。			
熟語の読み方	◎第5学年までに配当されている漢字を読むことができる。(知○技(1)エ)	○第5学年までに配当されている漢字を読んでいる。		○すすんで熟語の読み方に関心を持ち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
漢字の広場⑤	◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知○技(1)エ) ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(思○判○表 B(1)オ) ■示された言葉やつなぎ言葉を使って、道順を案内する文を書く。	○第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	○すすんで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。
想像力のスイッチを入れよう	◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。(思○判○表 C(1)オ) ○文章の構成や展開、文章の種類と特徴について理解することができる。(知○技(1)カ) ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思○判○表 C(1)カ) ■メディアとの関わりについて考えを伝え合う。 ☆メディアとの関わり方について理解し、考えをもつ題材(総合的な学習の時間、日常生活)	○文章の構成や展開、文章の種類と特徴について理解している。	○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	○積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習の見通しをもってメディアとの関わり方について話し合おうとしている。
複合語”	◎語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。(知○技(1)オ)”	○語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。		○すすんで複合語の構成や変化について関心を持ち、学習課題に沿ってそれらを理解しようとしている。
言葉について考えよう	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知○技(1)ア) ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(知○技(1)オ) ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思○判○表 B(1)ウ) ■手紙を書く。	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 ○語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	○積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って手紙を書こうとしている。
もう一つの物語	◎話や文章の構成や展開、話や文章の種類と特徴について理解することができる。(知○技(1)カ) ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。(思○判○表 B(1)イ)	○話や文章の構成や展開、話や文章の種類と特徴について理解している。	○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	○粘り強く文章全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって物語を書こうとしている。

	<p>■別の物語に書き換える。</p>			
<p>「子ども未来科」で何をする)</p>	<p>◎話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。(知○技(1)イ) ◎話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。(思○判○表 A(1)イ) ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知○技(1)カ) ○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。(思○判○表 A(1)ウ) ■提案するスピーチを行う。 ☆自分の関心のあることから題材を決め、詳しく知りたいと思うことを調べる活動(社会、総合的な学習の時間) ☆意見や理由と根拠を説明する活動(社会、総合的な学習の時間) ☆練習時のスピーチの録音○録画(ICT活用)〃</p>	<p>○話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。 ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 ○「話すこと○聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。</p>	<p>○粘り強く話の構成を考え、学習の見通しをもって提案するスピーチをしようとしている。</p>
<p>大造じいさんとガン</p>	<p>◎文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。(思○判○表 C(1)カ) ○比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。(知○技(1)ク) ○文章を音読したり朗読したりすることができる。(知○技(1)ケ) ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(思○判○表 C(1)エ) ■物語の魅力伝える文章を書く。 ■物語の魅力が表れているところを朗読する。</p>	<p>○比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。 ○文章を音読したり朗読したりしている。</p>	<p>○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</p>	<p>○積極的に意見や感想を共有し、学習の見通しをもって物語の魅力伝え合おうとしている。</p>
<p>漢字の広場⑥</p>	<p>◎第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知○技(1)エ) ○文章全体の構成や書き表しなどに着目して、文や文章を整えることができる。(思○判○表 B(1)オ) ■示された言葉を使って、出来事を報道する文を書く。</p>	<p>○第4学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表しなどに着目して、文や文章を整えている。</p>	<p>○すすんで第4学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして文を書こうとしている。</p>

<p>五年生をふり返って</p>	<p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知○技(1)ア) ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。(思○判○表B(1)ア) ■1年間の国語科での学びを振り返って、書く。</p>	<p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選んでいく。</p>	<p>○すすんで考えたことなどから書くことを選び、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。</p>
------------------	--	--	---	---

令和6年度 国語科評価規準（第6学年）

単元名	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分に質問してみよう	△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。	○「話すこと○聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。	○積極的に自分のことを客観的に捉え、今までの学習を生かして質問について考えようとしている。
風景 純銀もぎいく	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 □人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。 ○文章を音読したり朗読したりしている。	○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	○すすんで言葉の意味を考え、繰り返しの響きや意味に気をつけて音読しようとしている。
あの坂をのぼれば	△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 □人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	○すすんで言葉の意味を考え、学習の見通しをもって音読しようとしている。
図に表して考えよう	△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。	○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	○粘り強く伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって考えや意見を図に書いてまとめようとしている。
春はあけぼの	△親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 □文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	○親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	○すすんで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって『枕草子』ふうの文章を書こうとしている。
薫風「迷う」	△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 □事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。	○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	○積極的に随筆の特徴について理解し、今までの学習を生かして、者のものの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しもうとしている。

	□目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。			
随筆を書こう	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 △比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。	○思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 ○比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	○積極的に随筆の特徴について理解し、学習課題に沿って心を動かされたできごとから書く事柄を決め、随筆を書こうとしている。
漢字の広場 ①三字以上の熟語の構成	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。	○思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって熟語の由来に関心をもち調べようとしている。
漢字の広場 ①五年生で学んだ漢字 ①	△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
雪は新しいエネルギー	△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 □事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。 □目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。	○情報と情報との関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	○積極的に雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討し、今までの学習を生かして、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめようとしている。

主語と述語の対応をみる	△文中での語句の係り方や語順, 文と文との接続の関係, 話や文章の構成や展開, 話や文章の種類とその特徴について理解すること。	○文中での語句の係り方や語順, 文と文との接続の関係, 話や文章の構成や展開, 話や文章の種類とその特徴について理解している。		○積極的に主語と述語の対応について理解し, 今までの学習を生かして, 文のねじれに気づき, 正しく直そうとしている。
地域の防災について話し合おう	△思考に関わる語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 語句と語句との関係, 語句の構成や変化について理解し, 語彙を豊かにすること。また, 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して, 語や語句を使うこと。 ◇互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い, 考えを広げたりまとめたりすること。	○思考に関わる語句の量を増し, 語句と語句との関係, 語句の構成や変化について理解し, 語彙を豊かにしている。	○「話すこと○聞くこと」において, 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い, 考えを広げたりまとめたりしている。	○粘り強く意見の違いを大事にしながらか話し合い, 学習の見通しをもって考えを深めようとしている。
パンフレットで知らせよう	△情報と情報との関係付けの仕方, 図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ■筋道の通った文章となるように, 文章全体の構成や展開を考えること。 ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに, 事実と感想, 意見とを区別して書いたりするなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ■引用したり, 図表やグラフなどを用いたりして, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ■文章全体の構成や書き表し方などに着目して, 文や文章を整えること。	○情報と情報との関係付けの仕方, 図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	○「書くこと」において, 筋道の通った文章となるように, 文章全体の構成や展開を考えている。 ○「書くこと」において, 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに, 事実と感想, 意見を区別して書いたりしているなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において, 引用したり, 図表やグラフなどを用いたりして, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において, 文章全体の構成や書き表し方などに着目して, 文や文章を整えている。	○積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え, 学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとしている。
雨	△語句の由来などに関心をもつとともに, 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き, 共通語と方言との違いを理解すること。また, 仮名及び漢字の由来, 特質などについて理解すること。 ■目的や意図に応じて, 感じたことや考えたことなどから書くことを選び, 集めた材料を分類したり関係付けたりして, 伝えたいことを明確にすること。	○語句の由来などに関心をもっているとともに, 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き, 共通語と方言との違いを理解している。また, 仮名及び漢字の由来, 特質などについて理解している。	○「書くこと」において, 目的や意図に応じて, 感じたことや考えたことなどから書くことを選び, 集めた材料を分類したり関係付けたりして, 伝えたいことを明確にしている。	○粘り強く「雨」を扱った言語表現を集め, 学習の見通しをもって「言葉ノート」を作ろうとしている。
世代による言葉のちがいがい	△語句の由来などに関心をもつとともに, 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き, 共通語と方言との違いを理解すること。また, 仮名及び漢字の由来, 特質などについて理解すること。 ◇互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い, 考えを広げたりまとめたりすること。	○語句の由来などに関心をもっているとともに, 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き, 共通語と方言との違いを理解している。また, 仮名及び漢字の由来, 特質などについて理解している。	○「話すこと○聞くこと」において, 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い, 考えを広げたりまとめたりしている。	○積極的に世代による言葉遣いの違いについて理解し, 学習課題に沿って相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使おうとしている。

漢字の広場 ② 複数の意味をもつ漢字	△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。	○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を考えようとしている。
漢字の広場 ② 5年生で学んだ漢字 ②	△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
川とノリオ	△比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 △文章を音読したり朗読したりすること。 ◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 □登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 □人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 □文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 □文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	○比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 ○文章を音読している。	○「話すこと○聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 ○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 ○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	○すすんで優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、学習の見通しをもって優れた表現についての感想を話し合おうとしている。
教えて！あなたの「とっておき」	△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 ◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。	○「話すこと○聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	○積極的に話し手の意図を考慮し、今までの学習を生かして自分の意見と比べて考えをまとめようとしている。
詩を味わおう イナゴ	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 □登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。	○思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。	○積極的に言葉の広がりを楽しむ、学習課題に沿って詩の世界を楽しもうとしている。

<p>「知恵の言葉」を集めよう</p>	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 △原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。</p>	<p>○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。 ○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>○すすんで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって自分の「知恵の言葉」をつくらうとしている。</p>
<p>物語を作ろう</p>	<p>△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。</p>	<p>○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p>	<p>○積極的に物語のつくりの特徴について理解し、学習課題に沿って写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作ろうとしている。</p>
<p>会話を広げる</p>	<p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 ◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ◇互いの立場や意図を明確にしながらかつ画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。</p>	<p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。</p>	<p>○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p>	<p>○積極的に相手とのつながりをつくる言葉の働きを意識し、学習課題に沿って相手との言葉の掛け合いの工夫を考えようとしている。</p>
<p>漢字の広場 ③熟語の使い分け</p>	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。</p>	<p>○思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>		<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分けようとしている。</p>
<p>漢字の広場 ③五年生で学んだ漢字 ③</p>	<p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。</p>	<p>○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p>	<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
<p>あなたはどうか感じる？</p>	<p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 □文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。</p>	<p>○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p>	<p>○すすんで文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、学習課題に沿って友達と自分の感じ方の違いについて考えようとしている。</p>

<p>ぼくの世界, 君の世界</p>	<p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ■ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに, 事実と感想, 意見とを区別して書いたりするなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 □ 目的に応じて, 文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり, 論の進め方について考えたりすること。 □ 文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えをまとめること。</p>	<p>○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において, 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに, 事実と感想, 意見とを区別して書いたりしているなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において, 目的に応じて, 文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり, 論の進め方について考えたりしている。 ○「読むこと」において, 文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えをまとめている。</p>	<p>○すすんで筆者の考えに気をつけながら, 文章の要旨を捉え, 自分の経験をふりかえりながら「心の世界」について考えようとしている。</p>
<p>「うれしさ」って何?——哲学対話をしよう</p>	<p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて, 話の内容を捉え, 話し手の考えと比較しながら, 自分の考えをまとめること。 ◇互いの立場や意図を明確にしながらかつ画的に話し合い, 考えを広げたりまとめたりすること。 ■ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに, 事実と感想, 意見とを区別して書いたりするなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p>	<p>○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において, 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて, 話の内容を捉え, 話し手の考えと比較しながら, 自分の考えをまとめている。 ○「話すこと○聞くこと」において, 互いの立場や意図を明確にしながらかつ画的に話し合い, 考えを広げたりまとめたりしている。 ○「書くこと」において, 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに, 事実と感想, 意見とを区別して書いたりしているなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 積極的にお互いの考えや意見を関連づけて述べ合い, 今までの学習を生かして共通点や相違点をもとに分類しようとしている。</p>	<p>○積極的にお互いの考えや意見を関連づけて述べ合い, 今までの学習を生かして共通点や相違点をもとに分類しようとしている。</p>
<p>言葉は時代とともに</p>	<p>△古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して, 昔の人のものの見方や感じ方を知ること。 ■ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど, 文章に対する感想や意見を伝え合い, 自分の文章のよいところを見付けること。</p>	<p>○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して, 昔の人のものの見方や感じ方を知っている。</p>	<p>○「書くこと」において, 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど, 文章に対する感想や意見を伝え合い, 自分の文章のよいところを見付けている。</p>	<p>○積極的に言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを理解し, 学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>自分の考えを発信しよう</p>	<p>△文の中での語句の係り方や語順, 文と文との接続の関係, 話や文章の構成や展開, 話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ■ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに, 事実と感想, 意見とを区別して書いたりするなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p>	<p>○文の中での語句の係り方や語順, 文と文との接続の関係, 文章の構成や展開, 文章の種類とその特徴について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において, 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに, 事実と感想, 意見とを区別して書いたりしているなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において, 引用したり, 図表やグラフなどを用いたりして, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>○積極的に情報と情報との関係付けの仕方, 図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し, 学習課題に沿って理由や根拠を示して, 説得力のある意見文を書くようとしている。</p>

	<p>■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。</p>		<p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p> <p>○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。</p>	
漢字の広場 ④ 音を表す部分	△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。	○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解しようとしている。
漢字の広場 ④ 五年生で学んだ漢字 ④	△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
きつねの窓	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。</p>	○思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p>	○すすんで登場人物の心情の変化を考え、学習の見通しをもって想像したことを書こうとしている。
書評を書いて話し合おう	<p>△日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関わることに関心をもつことに気付くこと。</p> <p>◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。</p> <p>◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p>	○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関わることに関心をもっている。	<p>○「話すこと○聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。</p> <p>○「話すこと○聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して</p>	○すすんで書き表し方に着目して文を整え、これまでに読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合おうとしている。

	□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。		書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 すすんで書き表し方に着目して文を整え、これまでに読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合おうとしている。	
敬意を表す言い方	△日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。	○日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れている。		○積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って敬意を表す言い方を適切に使い分けようとしている。
言葉と私たち	△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 ◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。 ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 □目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。	○話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。	○「話すこと○聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	○粘り強く論の進め方について考え、学習の見通しをもって言葉に対する自分の考えを書こうとしている。
漢字の広場 ⑤ 同じ訓をもつ漢字	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。	○○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分けようとしている。
漢字の広場 ⑤ 五年生で学んだ漢字⑤	△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。

伊能忠敬	<p>△文の中での語句の係り方や語順, 文と文との接続の関係, 話や文章の構成や展開, 話や文章の種類とその特徴について理解すること。</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに, 事実と感想, 意見とを区別して書いたりするなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり, 表現の効果を考えたりすること。</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えをまとめること。</p> <p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し, 自分の考えを広げること</p>	<p>○文の中での語句の係り方や語順, 文と文との接続の関係, 文章の構成や展開, 文章の種類とその特徴について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において, 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに, 事実と感想, 意見とを区別して書いたりしているなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「読むこと」において, 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり, 表現の効果を考えたりしている。</p> <p>○「読むこと」において, 文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えをまとめている。</p> <p>○「読むこと」において, 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し, 自分の考えを広げている。</p>	<p>○積極的に原因と結果など情報と情報との関係について理解し, 学習課題に沿って伊能忠敬の生き方を考えたあと, 興味のある人物の伝記を読んで, その人物を紹介しようとしている。</p>
日本語の文字	<p>△語句の由来などに関心をもつとともに, 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き, 共通語と方言との違いを理解すること。また, 仮名及び漢字の由来, 特質などについて理解すること。</p> <p>◇目的や意図に応じて, 日常生活の中から話題を決め, 集めた材料を分類したり関係付けたりして, 伝え合う内容を検討すること。</p>	<p>○語句の由来などに関心をもっているとともに, 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き, 共通語と方言との違いを理解している。また, 仮名及び漢字の由来, 特質などについて理解している。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において, 目的や意図に応じて, 日常生活の中から話題を決め, 集めた材料を分類したり関係付けたりして, 伝え合う内容を検討している。</p>	<p>○積極的に日本語の文字の由来や特徴を理解し, 今までの学習を生かして適切に使い分けようとしている。</p>
漢字の広場 ⑥さまざまな読み方	<p>△思考に関わる語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 語句と語句との関係, 語句の構成や変化について理解し, 語彙を豊かにすること。また, 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して, 語や語句を使うこと。</p>	<p>○思考に関わる語句の量を増し, 話の中で使っているとともに, 語句と語句との関係, 語句の構成や変化について理解し, 語彙を豊かにしている。また, 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して, 語や語句を使っている。</p>		<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い, 学習の見直しをもって同形異語や熟字訓, 同字異訓についての理解を深め, 言葉の使い方に関心をもとうとしている。</p>
ひろがる言葉	<p>△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。</p> <p>◇目的や意図に応じて, 日常生活の中から話題を決め, 集めた材料を分類したり関係付けたりして, 伝え合う内容を検討すること。</p> <p>◇互いの立場や意図を明確にしながらかつ画的に話し合い, 考えを広げたりまとめたりすること。</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに, 事実と感想, 意見とを区別して書いたりするなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど, 文章に対する感想や意見を伝え合い, 自分の文章のよいところを見付けること。</p>	<p>○話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において, 目的や意図に応じて, 日常生活の中から話題を決め, 集めた材料を分類したり関係付けたりして, 伝え合う内容を検討している。</p> <p>◇「話すこと○聞くこと」において, 互いの立場や意図を明確にしながらかつ画的に話し合い, 考えを広げたりまとめたりしている。</p> <p>○「書くこと」において, 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに, 事実と感想, 意見とを区別して書いたりしているなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>○積極的に卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り, 成長を自覚するとともに, 中学校での新しい言葉との出会いの希望を持とうとしている。</p>

			○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	
自分に質問してみよう	△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 ◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。	○「話すこと○聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。	○積極的に自分のことを客観的に捉え、今までの学習を生かして質問について考えようとしている。
風景 純銀もざい く	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 □人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。 ○文章を音読したり朗読したりしている。	○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	○すすんで言葉の意味を考え、繰り返しの響きや意味に気をつけて音読しようとしている。
あの坂をのぼれば	△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 □人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。	○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	○すすんで言葉の意味を考え、学習の見通しをもって音読しようとしている。
図に表して考えよう	△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。	○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	○粘り強く伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって考えや意見を図に書いてまとめようとしている。
春はあけぼの	△親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 □文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	○親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	○すすんで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって『枕草子』ふうの文章を書こうとしている。
薫風「迷う」	△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 □事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。 □目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。	○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。	○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	○積極的に随筆の特徴について理解し、今までの学習を生かして、者のものの見方や感じ方などに触れ、随筆に親しもうとしている。

随筆を書こう	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。</p> <p>△比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。</p> <p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。</p>	<p>○思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p> <p>○比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。</p>	<p>○積極的に随筆の特徴について理解し、学習課題に沿って心を動かされたできごとから書く事柄を決め、随筆を書こうとしている。</p>
漢字の広場 ①三字以上の熟語の構成	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。</p>	<p>○思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>		<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって熟語の由来に関心を持ち調べようとしている。</p>
漢字の広場 ①五年生で学んだ漢字 ①	<p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。</p> <p>■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。</p>	<p>○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。</p>	<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
雪は新しいエネルギー	<p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>□事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。</p> <p>□目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。</p>	<p>○情報と情報との関係付けの仕方、語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。</p> <p>○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。</p>	<p>○積極的に雪エネルギーの利用に対する筆者の主張と取り上げた事例の関係、残された課題などを検討し、今までの学習を生かして、筆者の説明の仕方や雪エネルギーの利用について考えをまとめようとしている。</p>
主語と述語の対応をみる	<p>△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。</p>	<p>○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。</p>		<p>○積極的に主語と述語の対応について理解し、今までの学習を生かして、文のねじれに気づき、正しく直そうとしている。</p>

地域の防災について話し合おう	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ◇互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。	○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。	○「話すこと○聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	○粘り強く意見の違いを大事にしながらか話し合い、学習の見通しをもって考えを深めようとしている。
パンフレットで知らせよう	△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。	○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。	○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。	○積極的に相手や目的に応じて内容や構成を考え、学習課題に沿ってパンフレットを作ろうとしている。
雨	△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。	○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	○粘り強く「雨」を扱った言語表現を集め、学習の見通しをもって「言葉ノート」を作ろうとしている。
世代による言葉のちがひ	△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ◇互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。	○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。	○「話すこと○聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	○積極的に世代による言葉遣いの違いについて理解し、学習課題に沿って相手や場面に応じて適切な言葉を選んで使おうとしている。
漢字の広場 ② 複数の意味をもつ漢字	△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。	○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって複数の意味をもつ漢字が構成する熟語の意味を考えようとしている。

漢字の広場 ②五年生で学んだ漢字 ②	△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
川とノリオ	△比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 △文章を音読したり朗読したりすること。 ◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 □登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 □人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 □文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 □文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	○比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 ○文章を音読している。	○「話すこと○聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 ○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 ○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 ○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	○すすんで優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み優れた表現を味わいながら、人物の心情を読み、学習の見通しをもって優れた表現についての感想を話し合おうとしている。
教えて！あなたの「とっておき」	△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 ◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。	○「話すこと○聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	○積極的に話し手の意図を考慮し、今までの学習を生かして自分の意見と比べて考えをまとめようとしている。
詩を味わおう イナゴ	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 □登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。	○思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っていると同時に、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。	○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。	○積極的に言葉の広がりを感じ、学習課題に沿って詩の世界を楽しもうとしている。
「知恵の言葉」を集めよう	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 △原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。	○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。 ○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	○すすんで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって自分の「知恵の言葉」をつくらうとしている。

	<p>■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。</p>			
物語を作ろう	<p>△文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。</p> <p>■筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮すること。</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。</p>	<p>○文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p>	<p>○積極的に物語のつくりの特徴について理解し、学習課題に沿って写真から想像を広げ、展開を考えて物語を作ろうとしている。</p>
会話を広げる	<p>△言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。</p> <p>◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。</p> <p>◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。</p>	<p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。</p>	<p>○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p>	<p>○積極的に相手とのつながりをつくる言葉の働きを意識し、学習課題に沿って相手との言葉の掛け合いの工夫を考えようとしている。</p>
漢字の広場 ③熟語の使い分け	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。</p>	<p>○思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>		<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって意味のよく似た熟語の使い方の違いを理解し、使い分けようとしている。</p>
漢字の広場 ③ 五年生で学んだ漢字 ③	<p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。</p>	<p>○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p>	<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
あなたはどう感じる？	<p>△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。</p>	<p>○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。</p>	<p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p>	<p>○すすんで文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、学習課題に沿って友達と自分の感じ方の違いについて考えようとしている。</p>
ぼくの世界、君の世界	<p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p>	<p>○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p>	<p>○すすんで筆者の考えに気をつけながら、文章の要旨を捉え、自分の経験をふりかえりながら「心の世界」について考えようとしている。</p>

	<p>□目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。</p>		<p>○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p>	
「うれしさ」って何？——哲学対話をしよう	<p>△原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>◇話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。</p> <p>◇互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p>	○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	<p>○「話すこと○聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。</p> <p>○「話すこと○聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>積極的にお互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、今までの学習を生かして共通点や相違点をもとに分類しようとしている。</p>	○積極的にお互いの考えや意見を関連づけて述べ合い、今までの学習を生かして共通点や相違点をもとに分類しようとしている。
言葉は時代とともに	<p>△古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。</p>	○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知っている。	○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	○積極的に言葉がその時代の人々とともに変化してきたことを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
自分の考えを発信しよう	<p>△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>■引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>■文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。</p>	○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。</p> <p>○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章</p>	○積極的に情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、学習課題に沿って理由や根拠を示して、説得力のある意見文を書くようとしている。

	<p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。</p>		<p>に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。</p>	
漢字の広場 ④ 音を表す部分	<p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。</p>	<p>○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。</p>		<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって形声文字について、音と意味、成り立ちも含めて理解しようとしている。</p>
漢字の広場 ④ 五年生で学んだ漢字 ④	<p>△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。</p>	<p>○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。</p>		<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。</p>
きつねの窓	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。</p>	<p>○思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>	<p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p>	<p>○すすんで登場人物の心情の変化を考え、学習の見通しをもって想像したことを書こうとしている。</p>
書評を書いて話し合おう	<p>△日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと。</p> <p>◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。</p> <p>◇資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。</p>	<p>○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。</p> <p>○「話すこと○聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p>	<p>○すすんで書き表し方に着目して文を整え、これまでに読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合おうとしている。</p>

敬意を表す言い方	△日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。	○日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れている。		○積極的に語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習課題に沿って敬意を表す言い方を適切に使い分けようとしている。
言葉と私たち	△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 ◇話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。 ■目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 □目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。	○話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。	○「話すこと○聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 ○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。	○粘り強く論の進め方について考え、学習の見通しをもって言葉に対する自分の考えを書こうとしている。
漢字の広場 ⑤ 同じ訓をもつ漢字	△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。	○○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって異字同訓について理解を深め、関心をもつとともに正しく使い分けようとしている。
漢字の広場 ⑤ 五年生で学んだ漢字⑤	△第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。
伊能忠敬	△文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。 ■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。	○積極的に原因と結果など情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って伊能忠敬の生き方を考えたあと、興味のある人物の伝記を読んで、その人物を紹介しようとしている。

	<p>□人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。</p> <p>□文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。</p> <p>□文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること</p>		<p>○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p> <p>○「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。</p>	
日本語の文字	<p>△語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。</p> <p>◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。</p>	<p>○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付き、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。</p>	<p>○積極的に日本語の文字の由来や特徴を理解し、今までの学習を生かして適切に使い分けようとしている。</p>
漢字の広場 ⑥さまざまな読み方	<p>△思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。</p>	<p>○思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。</p>		<p>○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって同形異語や熟字訓、同字異訓についての理解を深め、言葉の使い方に関心をもとうとしている。</p>
ひろがる言葉	<p>△話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。</p> <p>◇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。</p> <p>◇互いの立場や意図を明確にしながる計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。</p> <p>■目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</p> <p>■文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。</p>	<p>○話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。</p>	<p>○「話すこと○聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。</p> <p>◇「話すこと○聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながる計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。</p> <p>○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。</p> <p>○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。</p>	<p>○積極的に卒業を前に六年間の言葉の学びを振り返り、成長を自覚するとともに、中学校での新しい言葉との出会いの希望を持とうとしている。</p>